

各論修正の方向性について（案）

1 各論分科会での指摘について

各論分科会で各委員からいただいた意見のうち、今後修正を行っていくにあたって、各施策を通じた横断的な調整・修正が必要な指摘事項として、主に次の3点が挙げられる。

- (1) 全体的に、各論の記述について、それぞれの施策における個々の事業内容を包含する表現となっており、計画期間内に何に力を入れて取り組んでいこうとしているのか、わかりにくい。
- (2) 各施策における分野の分け方が、行政組織寄りの視点で切り分けられており、市民の目線に立った場合、わかりにくいものとなっている。特に連携が必要な施策間のつながりが表現できていない。
- (3) 「課題と活用できる資源」について、「資源」への記載を追加する意見が多い一方で、「課題」のみが文章で記載されている。「資源」の記述については、単なる列記にとどまっており、「資源」の位置づけや活用方策などがわかりにくい。

2 修正の方向について

現在、各施策における個別の意見については修正に向けて調整中であるが、上の指摘事項を踏まえ、それぞれの施策の「わかりやすさ」に留意し、各論全体における様式や各項目における記述について、次の方向で修正する。

【1. 課題と活用できる資源】

「課題と活用できる資源」については、「施策の展開方向」等とのつながりに留意しながら、「課題」と「資源」の両方を含めて文章で記載し、「施策を考える背景」として再整理する。

【2. 施策の展開方向】

原案では、「ありたいまち」ごとに、当該施策における取組方向が概ね含まれる記述となっているが、これを改め、各施策において、今後、力を入れて取り組んで

いく方向性がわかるように修正する。「ありたいまち」との関係は図示する形に改める。

【３．各主体の役割】

「施策の展開方向」の修正内容に合わせる形で、記載の順序や文章表現の変更を行う。

【４．指標】

「施策の展開方向」の項目ごとに、できる限り、その進捗状況を測ることができる指標を検討し、記載する。

【施策間の連携について】

各施策間の連携が見えやすいよう、記述表現で工夫できるところは加筆等を行い、特に施策間の連携を意識して取り組んでいくべきものなど、関連性が深い施策については、連携先の施策名称と関連性をページ枠外にインデックス表示する。

以 上